こびとのおうちえんLetter 11月号

令和4(2022)年 11月 7日発行・第139号

かのんが「大根大きくなってるね！」と言った。朝、おにわでゆうきかのんかほみらいと私でおおどってた。かいとと久しぶりにさんぽにいった。いろのぶりぎんっきかいとブーばと歩きながら、くっつきむしをとばし合って遊んだ。

おひるからは、ワラあそびの片づけのために田布施のたんぼへ。みんなのつくったおうちの棒を解体してワラをはずしていく。もくもくとみんなやってる。そしておわったら、ワラをたくさんはこんでトランポリンみたいにしてあちこちでピョンピョンとんだり、ダイブしたり、ころがったりしてあそびはじめた。そんな光景がとってもよかったなあー。いっぱいあそんでたんぼに「ありがとう!!」そのあとてらこやの子たちのワラのいえを見にいった。入らせてもらってそれもうれしかったね！(10/31)

＝ 11月のスタッフプラン ＝

山であそぼう！

15日(火) おにぎりつくってピクニック
船岩寺へ
※自分でおにぎり作ります。空のおべんとうばこを持たせて下さい。

17日(木) おべんとうの日
石城山へのぼろう
※おべんとうの準備をよろしくお願いします。

10月はこんなことしました。

- いねかり
- ばななおに
- こおりおに
- おちばひろい
- けいどろ
- 干し柿作り
- しいの実ひろい
- モクズがにとり
- くさぎの実とり
- あけびとり
- えだまめゆがく
- 長なわとび
- 竹のべんとう箱づくり
- パタパタ作り
- 黄色コースの山であそぶ
- 茶臼山にのぼる
- 柿をスライスしてほす
- ようちえんごっこ
- たんぼでワラあそび
- くりきんとん作り
- 大王様の木にしにく
- キンモクセイのお茶づくり

etc…

スペシャルタイムのおしらせ

最近どうしてますか？ふだんのお子さんのことについて思うこと、また親御さんの中で今感じていることなど、よっこに気軽にお話しいただけたらうれしいです。ゆっくりすわってお話する時間をご一緒しましょう。初めての方は、あっおさんもご一緒しますね。

- 日程 11/9(水)～12/2(金)
- 時間 15:10～15:40(1日1組)

※その間お子さんはスタッフが見ています。ご希望の日をお知らせ下さい。日程・時間の合わない方はご相談下さい。ご希望の日時に致します！

11月のペアレンツグループ

18日(金) 13:00～15:00
場所 もみじのいえ
内容 聴き方を学びあいましょう
※参加の方は事前にご連絡下さい
当日でもOKです。

＿＿＿＿＿＿の様子をおしらせします。

運動会をした。運動会をしたい！と提案したのは私だ。でも、それをつくったのは、こどもたちだった。

やりたい!!とノリノリ。じゃあ、どんなことしたい？と聞いた。

「ばななおに」「こおりおに」「けいどろ」ふだんのあそびも入ってる。「リレー」「つなひき」「かりものきょうそう」「パンくいきょうそう」運動会っぽいのも出てくる。「うたったりおどったりする」「くるまー」「かんアリ」いろいろ出てくる。私はその場で思いついた「へんしんレース」「おたまレース」、あっきーはたくさんの中から「玉入れ」「くみたいそう」というわけで、このすべてをやることにする。

今度はプログラムを考える。順番きめるのもこどもたち。「はじめのことば」「おわりのことば」もいりますか？「いるー」やりたいものからどんどんきまっていく。16番まである。(それが当日やってみたら見事な流れだった。)

次に明日にむけて準備することをあげていった。プログラムをかく、かりものきょうそうのカード、玉入れのたま、へんしんグッズ、かざりの旗、リレーのバトン、うたをきめる、コースをきめる、パンケーキを焼く etc…

そして、自分のやりたいことを選んで分かれて準備がスタートした。こちらからは何も言わないのに、何かはしてね、とかもないのに自然と分かれて、しかも自分のやりたいことだから、とても熱心に。そしてワクワクしてやっている。場全体に活気があって、それはそれはうれしくおもしろい時間だった。

準備には1日かかった。動きたいエネルギーが出てきたから、ばななおにをはさんだりした。

そしてむかえた当日は、運動会日和。何がよかったって、みんな生き生きと楽しんでいたこと。そして、様々な人間模様(こどもたちの今)が見えたこと。(たとえば、こども同士で話し合う時の話し合い方や今の答えの出し方、勝ちにこだわる裏側にある自信のなさ、ただただいっしょうけんめいになる姿 etc…)それを通して自分の中にあるものも見えたこと。(たとえば、気をつけて関わりたいことやこどもたちの今ほしいもOKなこと etc…)

何より子どもたちが主体的だった。前日の準備があったから、当日もその種目は自分が担当だという意識がつよくてよく動いていた。これ、幼稚園年令の子たちだよね？出る種目も自分で選んでいた。ああ「主体的に動くことを日々重ねているんだなあ。」と実感した。自分で決めて動くこと。それは喜びにつながる。自分であることにつながる。

私の役割は、こどもたちがやることにまかせること。出すぎず、さがりすぎず、在ること。時間や種目をどのくらいの感じで進めるのか、場をみて判断すること。「ちょうどよい」の見極め。

だけど一番は、やりたいことへの瞬発力を示すことでもあったかな。じっくり考えることと同じように直感を大切にする。

体を動かすのは楽しい。それを一緒に味わいたい。動くことで開放される体と心を感じてほしい。いつもある気持ち。だから運動会といっても遠いおそいとかつよいよわいとかはどこかに置いとこ。そういう思いでやった。

宮野嘉子

よっこのちょこっとおうちえん日誌～日々のあれこれ～

毎朝いろのぶりの弟けいご(来年入園)が、バンバン！と言いながらやってきて、私の反応を待っている。けいごが「はやく合体しないと、もう忍者にはなれないぞ！」と言ってくる。

私にとっては、何のおどし文句にもなってないのだが…(笑)「けいごはよっこと合体したいんだねえ。」と言うと、「ちがう!!」と言ってまた「早くしないと…」とくり返す。私は実験のつもりで(私にけいごを変えたいという気もちはない)数日その会話をつづけてみたら、よ「合体したいの？」け「うん」と言い、その次の日からは、「合体しよう！」と言うようになった。けいごがいつも満足するほどはあそべないから、不満そうなときがあるけど、けいごに「もっとあそびたかった？」ときいたら、さいきんは、すなおにうなずくようにもなった。かわいいぜけいご♪

朝の歌声がすごくよいなあ。合唱団のよう。何の曲にも対応。「あさがおー」をうたったら、「あじさい」にしてるねー とかのんが言って、そしたら、「あじさーい、あじさーい」とはじまり、ももちゃんが「くみのみ」も！といったら、「あかいー あかいー」とすらすらはじまって合わさって。これですごく体がほっこりしたな。

「せんろはつづくよどこまでも」で、しょうまが「トンネルしよ。」とさそいに来た。そして、手をぎゅっとにぎって、その手から感じる揺れと感触がまた私のいやしになった。胸のモヤモヤをとってくれたのだった。完全リセット。前日に荒れた心になってかなりしんどくなった。それを頭でだけじゃなく、ちゃんと心もともなってととのえることができた。

「今日、宙(中3、卒園生)が、とうとうに「のいちご」のうたをうたってた。」って母りかさん。「ダ様ってるんやねえ。」って。

午後、バナナおにで休けいのとき、よっこの手をさわって「しわしわだねえ。」というかのん。「おばあちゃんになっていくねえ。よっこがおばあちゃんになったら、こどもたちが、おはようございます。今日来てるんのお名前よびまーす。ってしないとなあ。」よっこが、ゆのんにやってもらおう。みんなにやってもらおう。よっこはそばにすわってこっこっみていたいなあ。と言うと、かのん「いいよー！」みんなも「いいよー！」ゆうきが「ぼくもやる！」

おやつのときかのんがとっぜん「よっこ、カンパイしよう！」と言った。あかりとよしみさんがつくった作りたてのキンモクセイのお茶で。(10/19)

こととなかよしのうたのつくった「にじのおはなし」

「こっとんというひとがいました。
あめさんぽにいきました。
あめがやんだらにじがでました。
こっとんというひとはやさしいです。
こっとんというひとはおうちょこちょいではありません。
こっとんというひとはおうちにかえりました。
おとうさんもおかあさんもおねえちゃんもおばあちゃんもかえってきました。」

おうちごっこでうたゆさん。ことおねえちゃん。よっこ、こども。ねるときに「えほんよんで」と言ったときにしてくれたお話。ことと笑ってきいていた。(10/25)

あいりが手にふれてきてつないだり、かほがなべなべよーって手をつないだり、ぎんっきいーばーがぶらさがってきたり、そういうよろこばしいことがつづいている。かほとあそぶことはよくあっても触れることはなかなかなかった。まだまだそこまでは遠いと思ってたから、すごくうれしい。かほをだっこするときがきた。かほをだっこしたのははじめてに等しい。だから、だっこさせてくれたけど体は少しきんちょうしてかたくなっている。私はそのきんちょうやかたささえ愛しくおもった。(10/14)